

平成30年度名張市学校教育目標

位置づけ

名張市教育振興基本計画 名張市子ども教育ビジョン

〈名張市のめざす子ども像〉

夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ぱりっ子」

基本理念： 未来を担う子どもの夢の実現のため、学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一丸となって子どもの教育に向き合います。

計画の位置付け： 名張市総合計画「新・理想郷プラン」に示す教育分野の施策を具体化する行動計画

計画の期間：「基本目標」は、平成28年度～平成37年度の10年間
「主な取組」は、平成28年度～平成32年度の5年間

名張市学校教育目標

目標の位置づけ： 名張市立学校全体の基軸となる教育目標とする。

目標の期間： めざす姿は、子ども教育ビジョンと整合させ、重点事項は年度ごとに見直ししながら進める。

各学校教育目標

目標の位置づけ： 各学校は、名張市学校教育目標をふまえ、幼児、児童生徒、保護者、地域等の実態に即した教育目標を定め、その実現に向けて取り組む。

めざす姿

子ども

夢をはぐくみ

- ・夢をもち、目標に向かって努力し続ける子ども
- ・思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども
- ・自ら学び、考え、主体的に判断し、行動する子ども
- ・自ら課題を見付け、解決していこうとする子ども

心豊かで

- ・人との関わりを楽しむ子ども
- ・自らをコントロールし、他人とともに協調する子ども
- ・他人を思いやる心や感動する心を持つ子ども
- ・名張を愛し、名張を誇れる子ども
- ・社会の未来を考え、行動する子ども

元気な「ばりっ子」

- ・基本的な生活習慣を身に付けた子ども
- ・体を動かすことを好み、楽しむ子ども
- ・困難を乗り越え、明るく前向きに生活する子ども

学校

縦の連続を重視した学校
～就学前から小中をつなぐ一貫した教育～

横の連携を大切にしたい学校
～学校・家庭・地域・関係機関等との連携、小・小連携～

特色・魅力ある学校

社会に開かれた教育課程

教職員

信頼・尊敬される教職員

研究と修養に努める教職員

魅力ある人間力・教師力をもった教職員

支え合い高め合える教職員
～「チームとしての学校」の視点から対応できる教職員～

基本目標と主な取組

基本目標1 確かな学力の向上

- ・学力の向上 ・特別支援教育の推進 ・キャリア教育の充実 ・情報教育の推進とICTの活用 ・就学前教育の充実 ・グローバル人材の育成

基本目標2 豊かな人間性の醸成

- ・人権・同和教育、道徳教育の推進 ・ふるさと学習「なばり学」の推進
- ・持続可能な開発のための教育（ESD）の推進
- ・読書活動・文化芸術活動の推進

基本目標3 健やかな体の育成

- ・健康教育の推進 ・体力向上に向けた取組の推進 ・食育の推進

基本目標4 活力ある学校づくり

- ・教職員が働きやすい環境づくり ・学校の組織力の向上
- ・教職員の指導力の向上

基本目標5 安全で安心な教育環境の整備

- ・子どもの安全・安心の確保
- ・いじめや問題行動を未然に防ぐ学校づくり
- ・居心地の良い集団づくり ・学校の規模・配置の適正化の推進

基本目標6 家庭・地域との協働の推進

- ・家庭の教育力の向上 ・地域の教育力の向上

本年度の重点事項

- カリキュラム・マネジメント ○主体的・対話的で深い学び → 「アクティブ・ラーニング」の視点からの学習過程の改善
- 新学習指導要領（H32～） 本格実施を見据えた移行 ○「特別の教科道徳」の本格実施及び移行

縦の連続、横の連携を重視した学校づくり！
～信頼と絆～

生きる力の着実な定着！
～わかる授業、楽しい学校～

教職員が互いに高め合える教職員集団づくり！
～学校力・教師力の向上～

幼稚園・保育所（園）・小学校・中学校での一貫した取組
○就学前から小中をつなぐ一貫した教育
「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」の実践

学校、保護者・地域との連携

- 名張版コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進する中で目指す、「地域とともにある魅力ある学校づくり」
- 教育センターを活用した教育相談の充実と学校支援体制の構築及び家庭への支援

学校体制で取り組む授業改善

- ねらいを明確にした「わかる」授業づくり
 - ・めあての提示、振り返る活動
- 子ども主体の「考える」授業づくり
 - ・受信、思考、発信
- 確かな見取りによる「伸びる」授業づくり
 - ・個に応じた指導や支援、家庭学習の充実
- 魅力ある学校づくり
- いじめ・不登校の未然防止と豊かな人間関係の構築への取組
- 実態把握に基づく課題の共有
- PDCA サイクルによる検証と改善

効率的・効果的な研修

- 指導力を高める研修体制の確立
- 教育センターを拠点にした教職員研修等の充実と積極的な参加
- 教職員がやりがいを感じる環境の整備
- 本音で語り合い、互いに支え合い高め合える学校体制
- 働き方改革
 - ・勤務時間の縮減
 - ・教職員が働きやすい環境づくり

<基本目標に関する本年度の関連事業>

確かな学力の向上

- 【小中一貫教育推進事業】 【基礎学力向上支援事業】
- 県【「わかる授業」促進事業】 【特別支援教育充実事業】
- 【小学校 ALT 派遣事業】 【中学校 ALT 派遣事業】
- 国【幼児教育の推進体制構築事業】

活力ある学校づくり

【教育研究事業】

安全で安心な教育環境の整備

- 【生徒指導充実推進事業】 【いじめ防止対策事業】
- 国・県【スクールカウンセラー活用事業】

健やかな体の育成

- 【体力テストの実施と体力向上】 【食育推進事業】

家庭・地域との協働の推進

- 【地域ふれあい事業】 【地域学校協働本部】
- 【コミュニティ・スクール推進事業】 【土曜授業】
- 【未来へつなぐ学びの支援事業】

豊かな人間性の醸成

- 【ふるさと学習「なばり学」創設事業】 【総合的な学習推進事業】

めざす姿

子ども

夢をはぐくみ

- ・夢をもち、目標に向かって努力し続ける子ども
- ・思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども
- ・自ら学び、考え、主体的に判断し、行動する子ども
- ・自ら課題を見付け、解決していこうとする子ども

心豊かで

- ・人との関わりを楽しむ子ども
- ・自らをコントロールし、他人とともに協調する子ども
- ・他人を思いやる心や感動する心を持つ子ども
- ・名張を愛し、名張を誇れる子ども
- ・社会の未来を考え、行動する子ども

元気な「ぱりっ子」

- ・基本的な生活習慣を身に付けた子ども
- ・体を動かすことを好み、楽しむ子ども
- ・困難を乗り越え、明るく前向きに生活する子ども

教職員

- 信頼・尊敬される教職員
- 研究と修養に努める教職員
- 魅力ある人間力・教師力をもった教職員
- 支え合い高め合える教職員

縦の連続を重視した幼稚園
～就学前から小中をつなぐ一貫した教育～

横の連携を大切にした幼稚園
～園・家庭・地域・関係機関等との連携～

特色・魅力ある幼稚園

開かれた幼稚園

基本項目

（健康）

- ・生活に必要な活動を自分でする子の育成
- ・食育を通じ、食べることを楽しむ子どもの育成
- ・自ら体を十分に動かそうとする子どもの育成

（人間関係）

- ・身近な人と親しみ、かかわりを深める子どもの育成
- ・社会生活における望ましい習慣を身につけた子どもの育成
- ・友だちとのかかわりを深め思いやりのある子どもの育成

（言語）

- ・自分の言葉で表現しようとする子どもの育成
- ・相手の話す言葉を聞こうとする子どもの育成

（環境）

- ・身近な環境に親しみ、様々な事象に興味や関心をもつ子どもの育成

（表現）

- ・遊びを豊かにできる子どもの育成
- ・豊かな感性を持ち、自分なりに表現できる子どもの育成

本年度の重点事項

縦の連続、横の連携を重視した幼稚園づくり！

生きる力を育む基礎づくり！

教職員が互いに高め合える環境の整備！

幼稚園・保育所（園）・小学校・中学校での一貫した取組

- 就学前から小中をつなぐ一貫した教育「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」の実践【ぱりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト】
- 園【幼児教育の推進体制構築事業】

幼稚園、保護者・地域との連携

- 教育センターを活用した教育相談の充実と幼稚園支援体制の構築及び家庭への支援

主体的な活動の促進と幼児期にふさわしい生活の展開

自発的な遊びを通しての指導

- 健やかな身体づくり
- 社会性・道徳性の育成

幼児一人ひとりの発達段階に応じた環境・支援の充実

- 自然や人との多様な体験を通じた豊かな感性と表現力の育成

- 子ども同士の関係を育む環境の検討
- 異年齢交流の推進と身体づくり

効率的・効果的な研修

- 資質を高める研修体制の確立
- 教育センターを拠点にした教職員研修等の充実、積極的な参加

教職員がやりがいを感じる環境の整備

- 本音で語り合い、互いに支え合い高め合える幼稚園体制
- 「教職員が働きやすい環境づくり」の取組

関連する「名張市子ども教育ビジョン」（一部抜粋）

めざす姿

保育所（園）、認定こども園、幼稚園、小中学校等の連携が強化され、一人ひとりの子どもの学力に係る課題を共有し、その解決に向けた指導方法の工夫と改善が図られています。

【基本目標1】

途切れない支援

障がいのある子どもが、持てる力を発揮できるよう、個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、保育所（園）、認定こども園、幼稚園、小中学校を通じた途切れない支援を行います。

【基本目標1（2）特別支援教育の推進】

幼稚園、小中学校の連携の強化

小1プロブレム等就学時の課題を解決し、小学校教育へ円滑な接続が行われるよう、保育士、保育教諭、幼稚園教職員と小中学校教職員が相互に保育・授業参観を実施する取組を促進します。また、中学校区でめざす子ども像を共有し、指導内容や指導方法について相互理解が図られるよう実践交流会や合同研修会等を実施します。

【基本目標1（5）就学前教育の充実】

幼稚園教職員の資質・能力の向上

関係機関と連携し、保育士や保育教諭、幼稚園教職員の資質向上を図るため、幼児教育に関する会議・研修内容の充実を図ります。

【基本目標1（5）就学前教育の充実】

接続期のカリキュラムの編成

幼児期の年長から小学校1年生の2年間を子どもの発達や指導方法の連続性を踏まえた「接続期」と捉え、「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」に基づき、就学前教育と小学校教育の連続を図ります。

【基本目標1（5）就学前教育の充実】